

第十四回 令和8年「和田浦くじらゼミ」の概要

テーマ「今後の和田浦くじらゼミの進む方向性をみんなで考えましょう！」

(1) タイムスケジュール

第一部：令和8年7月4日（土）13：00から7月5日（日）12：00まで

場所：南房総市和田コミュニティセンター 2階会議室

12：30 受付開始 12：50 集合時刻 13：00—13：10 開会の挨拶

拶

13：10—13：40「僕が今和田浦で出来ること」 講師：庄司義則

13：40—14：20「捕鯨研究をめぐる動向と課題」(仮) 講師：赤嶺淳

14：20—14：30 質疑応答

14：30—14：40 休憩

14：40—15：10「捕鯨船の砲手における技術継承」 講師：西野嘉憲

15：10—15：50「折り紙を折って、鯨の適応進化を考える」 講師：西脇茂利

15：50—16：00 質疑応答

(以上で第一部は終了。その後、各自宿泊施設にチェックインしていただきます。)

なお、上記の講義の内容は暫定的なもので、変更される可能性があります。)

第二部：懇親会の部 18：00—21：00 2階会議室にて

第三部：7月5日（日）午前中 ツチクジラ解体作業見学（4日（土）の捕獲がなく、解体作

業がない場合は、1部と同じ2階会議室にて9：00—12：00座学の予定)

(2) 過去の「和田浦くじらゼミ」のテーマの変遷

第1回目 (H21) 「房州のツチ鯨漁の歴史と現状、食文化について」

第2回目 (H22) 「イワシとクジラの房州人」と「鯨の科学の実際」

第3回目 (H23) 「沿岸漁村社会と捕鯨業の将来を問い直す」

—映画「The Cove」・妨害される南氷洋捕獲調査・被災した漁村社会を題材に—

第4回目 (H24) 「万祝—房州発祥の漁民民芸の結晶—を鑑賞し、考える」

第5回目 (H25) 「シロナガスクジラ（白長須鯨）のことを学びましょう！」

第6回目 (H26) 「やはり、今回は国際捕鯨裁判を学びましょう！」

第7回目 (H27) 「水族館のイルカ問題を起点に、人間と野生生物の関係を考えましょう。」

第8回目 (H28) 「世話人 西脇茂利さんの還暦を祝して」

第9回目 (H30) 「原点に戻り、ツチクジラを学び直しましょう！」

第10回目 (R1) 「日本の商業捕鯨の再開について」

第11回 (R5) 「温故知新—日本近代の捕鯨史からその未来を考える」

題12回 (R6) 「頻発する軋轢！今 人間と動物の関係性を考え直す」

第13回 (R7) 「それぞれ引き続き鯨を追う 和田浦に集う懲りない面々」

なお H29 は外房捕鯨の事情に拠り、R2-4 はコロナ禍で実施できませんでした。

第十四回 和田浦くじらゼミ参加者募集要項

引き続き北国でのミンククジラ漁に従事。八戸にて今夏の「和田浦くじらゼミ」の準備をしています。昨年はカラ梅雨だったが、今年はようやく関東甲信越地方の梅雨入りが宣言された頃おい。当地八戸でも雨がよく降り、かつて東北地方に冷害をもたらしたヤマセと呼ばれる東風がそれを吹き上げる。6月に入り、そんな日々が続いています。故に概して海況は悪しく、捕鯨船の方は一向に働けない。まあ困ったものですが、でも漁業は敢えてそれを受け入れて前に進む仕事です。

年年歳歳花相似たり　　年年歳歳人同じからず

北国の街では春の庭木や草花に対する人々の思い入れが強い様に思う。住宅地を歩けば、おばちゃんやおばあちゃんが庭の草木をケアしている。我が5月の歩行通勤の道程は百花繚乱の様相でした。やがて春も暮れ、寺社は巨大な銀杏や櫻の淡き繁みに覆われる。今では杜の緑は霧雨に烟り、季節の移ろいを感じさせる。

この冬に「地元小学生の解体見学」や「和田浦くじらゼミ」を全面的に支えてくれた四季の宿「じんざ」のご主人 石井英毅さんが逝去。さればこそ、今年もこのセミナーを継続しよう！そう宣言したものの、さてどの様に運営していこうか？今まで「去年出来たことだから今年も出来る」という料簡で進めてきた様な気がする。でもそれは事実ではないのだ。

でもこのセミナーには良質な思い出が沢山詰まっている。新船の建造や震災でこさえた

借金を抱え、右往左往する我が心に清涼な爽風を吹き込んでくれた。そうですね、感謝・

感謝・感謝、感謝するしかない。そう思います。

尤も自分自身この春に齢六十五を迎え、年金事務所からは書類が送られてきた。もう若くはない。そんな僕がこれから何をできるのだろうか？従前の様にとってつけた様に「これで行きましょう。」とするのではなく、一旦立ち止まって13回を重ねた歴史を、故石井英毅さんを偲びながら、振り返ってみましょう。そして改めてこれから何をするのか、考えてみましょう。世話人の中でそんな気持ちを想いを共有しながら、第14回目のセミナーを進めることにしました。

ということで、以下に募集要項を掲示します。ひとつよろしく申し上げます。以上

(1) 開催日時と募集人数 (一泊二日)

7月4日(土) 13:00から5日(日) 午前中 30名程度まで

(2) 参加費・お支払方法

参加費：1万3千円 (一泊2食+酒代込み。)

クレジット支払若しくは指定の口座に6月19日(金)までにお振込み下さい。

宿泊を伴わない参加も可能です。地元の皆さんが電車利用で夕食（交流会）まで

参加が出来る様に、プログラムを調整しています。費用については、ゼミ参加費、

交流会費、二次会費、宿泊費と個別に設定します。詳細は以下（9）項をご参照下さい。

（3）テーマ：「今後の和田浦くじらゼミの進む方向性をみんなで考えましょう！」

講義の内容は、以下の「（7）項具体的なスケジュール」をご参照下さい。

（4）申込方法

（ア）以下の URL より申込フォームに入力



<https://asobitabi.enjoyboso.jp/program/detail.html?CN=383535>

※料金のお支払いについては申込フォーム入力時にクレジット決済と口座振り込みを選択できます。

（イ） 参加申込書をメール若しくは FAX で送付。

「参加申込書」を、パソコンに保存・必要事項を記入の上でメール送信、或いは印刷して必要事項を記入の上ファックス送信してください。申込書受領後確認のご連絡をさせていただきます。申込確定後下記口座へ参加費をお振込ください。

(一般社団法人 南房総市観光協会) メールアドレス tour@cm-boso.com

ファックス 0470-28-5309

電話 0470-28-5307

振込口座 千葉銀行 那古船形支店 店番号 223 普通 3251382

(ウ) 申し込み期限 : 6月17日 (水)

参加費振込期限 : 6月19日 (金)

※講座に関する問い合わせは：ネイチャースクールわくわくWADA事務局まで

電話番号は080-2558-0238、受付時間帯は 8:30-17:00です。

(電話でのお申し込みはできません)

(5) 集合時刻 / 場所

集合時刻：7月4日 (土) 12:50 (12:30受付開始・13:00開講)

集合場所：南房総市和田コミュニティセンター 2階 会議室

* 住所は「南房総市和田町仁我浦 206 番地」、TEL番号0470-47-3111です。

* 南房総市和田コミュニティセンターの駐車スペースは、集合場所付近にあります。

(6) 宿泊先 (基本的に和田浦駅又は和田港の近くの民宿施設)

* 「安田民宿」「醤油屋」さんに分宿していただきます。

参加者の部屋割りについては、NPO 法人ネイチャースクールわくわくW A D Aが、

皆様が申し込み用紙の「宿泊に関する要望欄」に記入された要望を参考に調整します。

申し込み用紙の「宿泊に関する要望」欄にご要望等をご記入下さい。但し、「男女別の相部屋」が

基本です。ご要望に沿えない場合も想定されますので、予めご了承下さい。

* 各参加者の宿泊先、部屋割りについては、受付の際に個別に説明します

(7) 具体的なスケジュール

第一部：令和8年7月4日（土）13：00から7月5日（日）16：00まで

場所：南房総市和田コミュニティセンター 2階会議室

12：30 受付開始 12：50 集合時刻 13：00—13：10 開会の挨拶

13：10—13：40「僕が今和田浦で出来ること」 講師：庄司義則

13：40—14：20「捕鯨研究をめぐる動向と課題」（仮） 講師：赤嶺淳

14：20—14：30 質疑応答

14：30—14：40 休憩

14：40—15：10「捕鯨船の砲手における技術継承」 講師：西野嘉憲

15：10—15：50「折り紙を折って、鯨の適応進化を考える」 講師：西脇茂利

15：50—16：00 質疑応答

(以上で第一部は終了。その後、各自宿泊施設にチェックインしていただきます。)

なお、上記の講義の内容は暫定的なもので、変更される可能性があります。）

第二部：懇親会の部 18：00—21：00 2階会議室にて

第三部：7月5日（日）午前中 ツチクジラ解体作業見学（4日（土）の捕獲がなく、解体作業がない場合は、1部と同じ2階会議室にて9：00—12：00座学の予定）

（ア）7月4日（土）の和田浦への公共交通機関について

（電車）JR 館山駅発（上総一ノ宮行き）11：40発 和田浦12：05着

JR 安房鴨川駅発（木更津行き）12：02発 和田浦12：17着

（東京からの便）JR 外房線の特急列車の便もありますが、東京駅またはバスタ新宿発の館山及び

鴨川行き的高速バスが概ね1時間に1本運行されています。

特急列車と比べれば安価で、運行本数が多く便利です。

（イ）第二部：交流会の部

18：00—21：00 交流会 （会場：セミナー会場と同じ2階会議室）

皆さんと一緒に故石井英毅さんを偲びながら交流しましょう。今回は「チーム花鯨」の

皆さんのお力添えを得て、「鯨の食べ物」をカバーしたいと思います。

21：00— 二次会

（会場については「安田民宿」の大広間です。追って参加人数を制限する可能性があることをお含み

置き下さい。又、参加者と不参加者の公平性の確保と昨今の諸経費増の穴埋めに些少なから貢献

したいとの観点より、1000 円/人のカンパにご協力いただけますと幸いです。その徴収は、当日二次会
会場にて行います。)

(ウ) 第三部：7月5日（日） 正午までに終了

* 本来「和田浦くじらゼミ」は週末の土日に実施し、もし土曜日にツチクジラが獲れば、翌日曜日の早
朝にその解体作業を見学する仕組みとなっています。従いまして、セミナー2日目の5日（日）は、前
日鯨が獲れた場合には早朝から解体見学。

獲れなかった場合は5日（日）の午前中に座学形式のセッションを実施します。

* 7月4日（土）夕刻に、5日(日)午前のセッションの集合時刻を連絡します。

* 7月5日（日）は、正午までには閉会・解散とします。

(8) 7月4日（土）の懇親会終了後の電車の時刻について

日帰り参加も可能です。晩の交流会にもご参加下さい。

なお、和田浦駅発の最終の電車は以下の通りです。

館山方面最終電車 21：34（木更津行）館山着 22：02

安房鴨川方面最終電車 22：03（安房鴨川行）安房鴨川着 22：17

(9) 参加費に関する諸規定 (税込)

全日程参加費 13,000円

(明細)

*ゼミ参加費(保険料500円を含む) 2,500円

*一泊朝食付宿泊費 6,000円

*交流会(夕食)費(酒代込み) 4,500円

(二次会参加者カンパ 1,000円/人(別途当日二次会会場にて徴収))

(10) セミナーの実施主体

このセミナーは NPO 法人ネイチャースクールわくわくWADAの主催です。 以上

(メールでの申し込み先アドレス) : tour@cm-boso.com

(ファックスでの申し込み先番号) : FAX: 0470-28-5309

申し込み日 令和8年 年 月 日

第14回 和田浦くじらせミ参加申込書

(※参加される方全員についてご記入ください。)

1. 氏名と生年月日：

2. 住所：〒

3. 電話番号：

4. 7/4（土）の宿泊について ※該当するものを○又は（ ）で囲んで下さい。

宿泊する （ 男 ・ 女 ） 日帰り参加

5. （「宿泊する」に○の方）、部屋割り等につき、要望事項を記入してください。

（例：AさんとBさんとCさんで一部屋をお願いしたい。）

6. 参加する行事 ※参加・不参加について、該当するものを○ 又は（ ）で囲む

（月日） （項目） （時間帯） （場所） （参加・不参加）

(ア) 7/4(土) セミナー 13:00-16:00 南房総市和田コミュニティセンター (参加 ・ 不参加)

(イ) 7/4(土) 交流会 18:00-21:00 南房総市和田コミュニティセンター (参加 ・ 不参加)

(ウ) 7/4(土) 交流会二次会 21:00— 「安田民宿」 1000円/人 (参加 ・ 不参加)

(エ) 7/5(日) セミナー 9:00頃—12:00 南房総市和田コミュニティセンター (参加 ・ 不参加)

7. 交通手段

(ア) 自家用車

(イ) バス・電車等公共交通機関

(ウ) その他

(具体的に)

・宿泊される方には、別途詳細をご連絡いたします。

* 集合場所の住所は「南房総市和田町仁我浦 206 番地」、TEL番号 0 4 7 0 - 4 7 - 3 1 1 1 で

す。カーナビご利用の方はこの住所又はTEL番号を入力して下さい。

・ご不明な点がありましたら、Tel 0 8 0 - 2 5 5 8 - 0 2 3 8 ・ネイチャースクールわくわくWADA

事務局までお問合せください。 以上